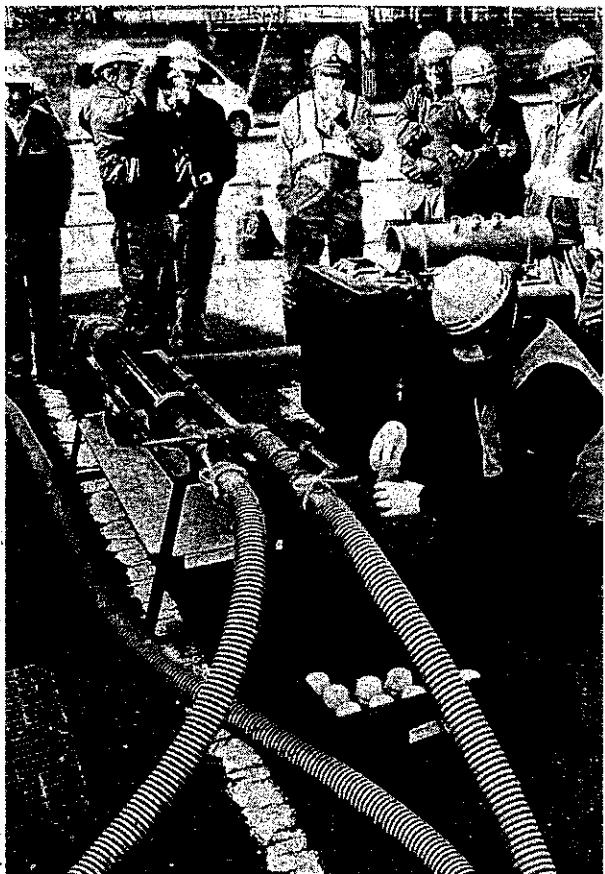


大牟田

# 新技术で管内洗浄

九州初のアイスピグ工法

## 流量は大幅に改善



九州初の工法で行われた放流管の洗浄

大牟田市汐屋町の共栄環  
部環境センターから七浦橋

まで総延長1・5キロの処理

を九州で初めてとなる「ア  
イスピグ工法」で洗浄し、  
流量は大幅に改善。多くの

関係者らが作業の様子を見  
守り、環境に非常に優しい  
といわれる新たな工法に高い  
い関心を寄せていた。

この区間の放流管の洗  
浄が行われたのは3年前。  
この時は球状のスポンジ  
を管内に通して汚れを除去  
するという洗浄するピグ工  
法で行われたが、今回は管  
内を特殊アイスピーザーベッ  
トの力で洗浄するアイスピ  
グという新しい工法で実  
施。

アイスピグ工法を使うア  
イスピーザーベットは水と塩  
を混ぜて作ったもの。管面  
に付着したさびや汚れを  
取り除き、管外へ排出す  
る。球状や砲弾状のスpon  
ジなどを使うピグ工法と違  
うことから配管が曲がっ  
ても優しいといふとともに大  
きな特徴という。

今回洗浄が行われたのは  
総延長1・5キロで高低差35  
メートルのエリア。市が発注して  
共栄環境が請け負い、安全  
性が高いため、アイスピグ工  
法が選ばれた。作業は3日間行い、製氷車で  
アイスピグを作つてデリバ  
リー・ユニットでこれを搬  
送。管内にアイスピグを注  
入して洗浄作業を行つた。

1日目はガスセンター付近か  
ら七浦橋までの750メートル  
区間を洗浄。いずれも約4  
・4トンのアイスピグが使用  
された。アイスピグが注入  
された後は管内の水温が下  
降。しばらくすると、真っ黒  
な汚れが付着したアイスピ  
グが確認された。

1時間当たりの流量は清  
掃前が20・5立方メートルへ大  
幅に改善。市東部環境セン  
ターでは「流量から見ても  
も汚れ等はかなり落ちて、  
効果は確実にあった」と話  
していた。

(小柳  
聰)